

文化財 だより

NO.20

令和3年度

発行●太田市教育委員会 発行日●令和4年10月31日 編集●太田市教育委員会文化財課(群馬県太田市粕川町520 TEL 0276-20-7090 FAX 0276-52-6080)

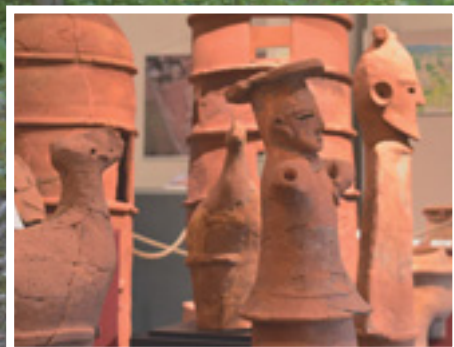
藪塚本町歴史民俗資料館が令和4年3月をもって閉館となりました。
それに伴ってこの度、同資料館で展示していた資料を高山彦九郎記念館の2階に移設し、展示することとなりました。

今まで公開する機会が少なかった資料も新たに加え、当時の遺構を再現した展示あり、意匠を凝らした展示あり、と見るかたに楽しんでいただける内容としました。

2階

高山彦九郎 記念館

変わりました。



つづきはぜひ高山彦九郎記念館で。



群馬県指定重要文化財「長楽寺の勅使門」 保存修理事業が完了しました！



修理後の長楽寺の勅使門（東から）

前回の修理工事より50年以上が経過し、漆塗装の退色、破損が進んでいたため、令和3年7月16日から令和4年3月28日までの約7か月間をかけ、所有者の長楽寺による「長楽寺の勅使門保存修理工事」が実施されました。

長楽寺の勅使門は、世良田東照宮の正門として建造され、勅使または幕府の上使が参向するときだけに開けられたと伝えられ、建設時期は17世紀中期頃と考えられており、群馬県の重要文化財に指定されています。

今回の修理では、全体を朱に彩っていた塗装の劣化や剥離が深刻な状況になっていたため、屋根以外の塗装修理を行いました。鮮やかな色彩がよみがえり、往時の姿を取り戻すことができました。



修復前の長楽寺の勅使門（東から）

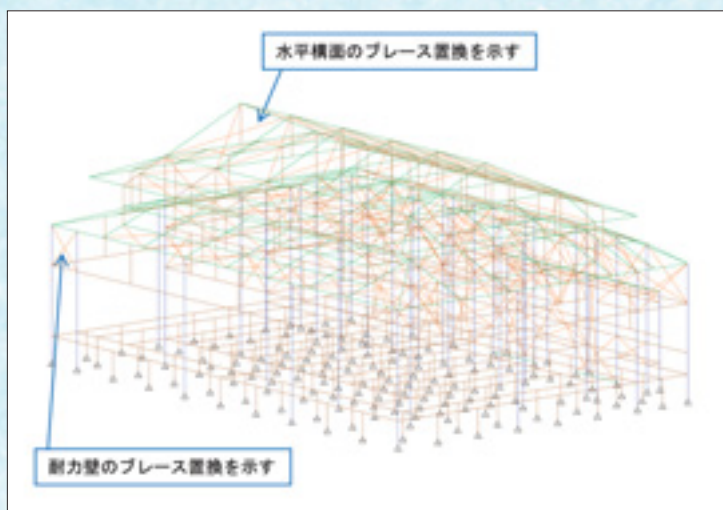


退色していた柱



旧中島家住宅の耐震診断を実施しました

令和元年6月から令和4年7月までの約3か年をかけ、国重要文化財「旧中島家住宅」の耐震診断を実施しました。現在は、主屋の4つの棟のうち車寄部（玄関棟）のみ耐震補強を実施して公開していますが、残りの3棟において大地震が発生しても来館者の安全を確保できるように補強案の検討を行いました。今後の修理工事で耐震補強を行い、全面公開を目指していきます。



客室部の立体解析モデル

旧中島家住宅の保存活用計画策定を進めました

令和2年から令和4年までの約2か年をかけ、国重要文化財「旧中島家住宅」の保存活用計画策定を進めてきました。

保存活用計画とは、建物の現状と課題を把握して、今後の保存・活用がスムーズに進むように定める計画です。

活用検討委員会（地元有識者）や調査・整備専門委員会（建造物関係有識者）からご意見をいただき、皆様にどのように活用していただくか、そのためにどのように修理していくかを検討してきました。

保存活用計画を指針として、市民の皆様に親しんでいただける中島知久平邸になるよう整備を進めていきます。



図5-4 活用計画配置図（主屋内部）

活用計画配置図



で まえ こう こ がく きょう しつ

出前考古学教室

文化財課では毎年、市内の小・中学校を対象に地域の歴史・文化を学んでもらう機会として、出前考古学教室を実施しています。学校に出張して土器や埴輪を間近で見触れてもらい、児童・生徒のみなさんに歴史を身近に感じてもらうことを目的としています。令和3年度はコロナの影響で実施が困難と思われましたが、ぐんま国際アカデミー中等部からご要望をいただき、実施することができました。

- と き 令和3年6月10日（木）から11日（金）
- ところ ぐんま国際アカデミー中高等部
- 見学者 中等部1年生 生徒88名

中等部1年生における社会科の授業の一環として、「考古学とはどのような学問か」「太田市の原始・古代の様子」をテーマに展示・講座を行いました。

教室1室をお借りした展示会場では、太田市内で出土した縄文時代から古墳時代までの遺物のほか、模型・パネルを展示しました。また直接土器に触れるコーナーや、ぐんま国際アカデミー中高等部周辺で出土した遺物・出土地点を示したパネルを設置し、生徒のみなさんがより身近に歴史を感じられるよう工夫しました。

講座では、実際の発掘調査の様子を写した写真や、太田市内で出土した土器などを題材に、考古学という学問や、考古学を通してみた太田市の古墳時代についてお話ししました。



展示会場の様子



ぐんま国際アカデミー周辺で出土した遺物



土器のかげらに触ってみよう



講座の様子



史跡金山城跡

戦国期の山城である史跡金山城跡（太田市金山町）では、老朽化した棧道の解体や管理用道路の補修などを行いました。

一方、金山城跡整備箇所を中心に活動しているボランティア組織の「金山城保存会」や「金山の松と竹を愛する会」の協力を得て、除草や竹林整理などの環境整備に取り組みました。



金山城保存会作業風景



金山の松と竹を愛する会作業風景

史跡新田荘遺跡（反町館跡）

反町館跡（新田反町町）は、南北約120m、東西約73mの凸字形の平面形を持つ館跡で、鎌倉時代から南北朝時代に築造されたと伝えられています。館の周囲には堀が残されていますが、このうち南側の堀は、法面が水流により浸食され、崩落は始めている状態でした。これを防止し、史跡の保全を図るため、文化庁の国庫補助事業（歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業）を受けて、令和3・4年度の2年計画で護岸工事を行うこととなりました。令和3年度は、路線測量、用地測量、地質調査及び南堀の底面・法面の確認調査を行い、これらの結果に基づいて実施設計書を作成しました。



堀底面の確認調査



地質調査

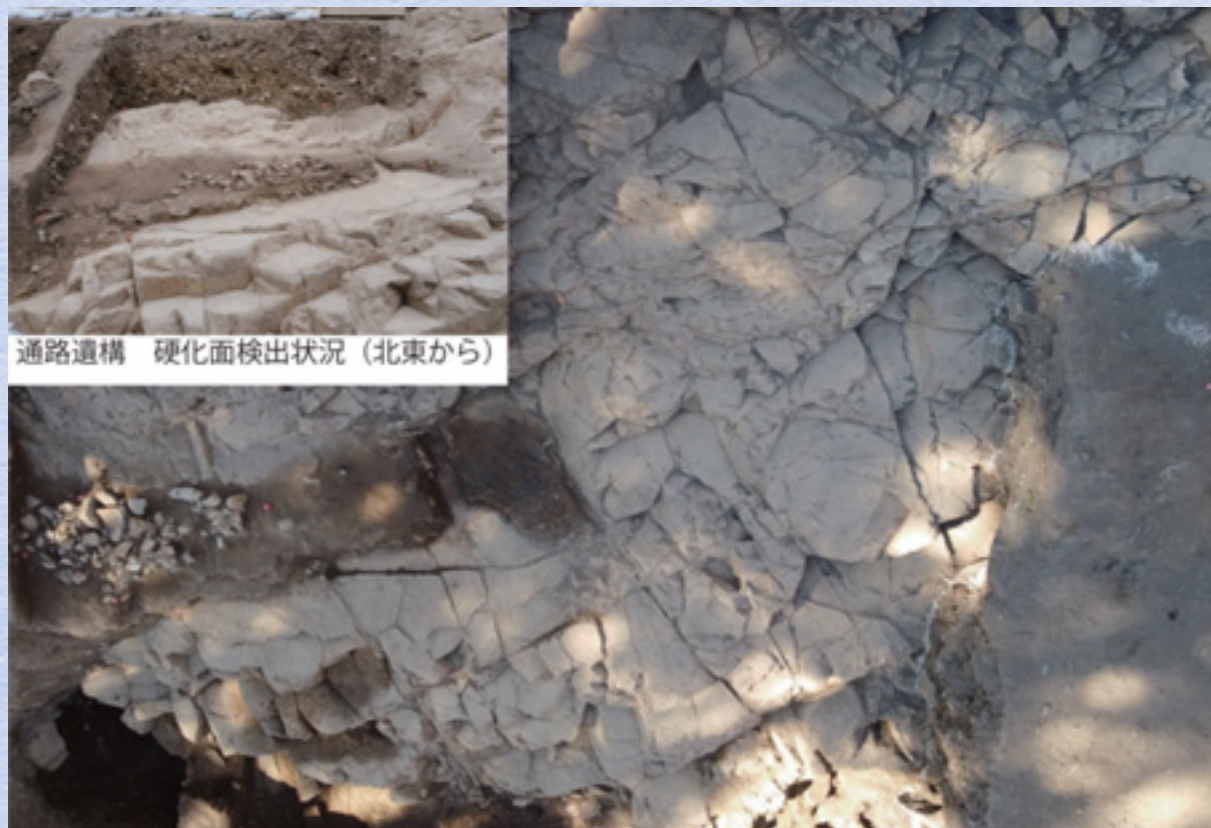


反町館跡の南側の堀の現状（東から撮影）

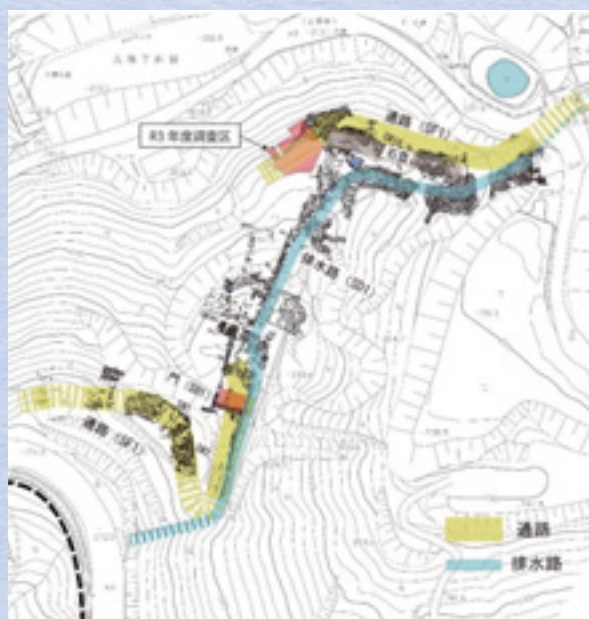


史跡 金山城跡 の最新情報

- 調査場所 太田市金山町40-166(金山城跡釘貫戸張地区)
- 調査期間 令和3年11月9日から令和4年3月19日
- 調査面積 58㎡(R3-1トレンチ)
- 調査の概要 釘貫戸張地区の未調査箇所において大手道通路遺構を調査した。



令和3年度 調査箇所写真 (真上から)



釘貫戸張地区の遺構配置図

今回の調査では、過年度の調査区南側に接する形で設定しました。

通路遺構は、岩盤を幅1.5から1.7m程に平坦に加工した部分が確認され、この平坦面上で上下2面の硬化面が確認されました。下面の硬化面はほぼ全面に礫が敷かれ、これらの礫は摩滅した状態でした。上面の硬化面は上部に黄褐色の砂が敷かれ、この下部には部分的に礫が敷かれた状態でした。

硬化面はこれまでの調査で確認された通路遺構の延長線上にあることから大手道の可能性が考えられます。



とうぶちくいせきぐん

東部地区遺跡群（公共開発）

- 調査場所 太田市阿久津町・岩松町地内
- 調査期間 令和3年4月22日から5月6日
- 調査面積 約70㎡

尾島東部土地区画整理事業の道路建設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、2ヶ所の調査区から掘立柱建物跡4棟、土坑14基、ピット64基が確認されました。その内、3棟の掘立柱建物跡はいずれも方向が異なり、重なり合っていたため、同時期に建てられていたわけではなく、建て替えによる時期差があったものと考えられます。



調査区全景（北東から）



3棟の掘立柱建物跡（北から）



ピットから出土した須恵器

とりやまてらなかいせき

鳥山寺中遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市鳥山上町地内
- 調査期間 令和3年9月8日から10月29日
- 調査面積 約470㎡

分譲住宅建設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、竪穴建物跡13軒、土坑41基、井戸1基等が見つかり、土師器高坏・須恵器蓋等が出土しました。出土した遺物の特徴から、古墳時代末から奈良・平安時代に集落が形成されていたことが推定されます。



調査区全景（南から）



まとまって出土した土師器・須恵器



竪穴建物跡 全景（西から）



ひがし べつ しょ にし はら い せき

東別所西原遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市東別所町地内
- 調査期間 令和3年4月20日から6月10日
- 調査面積 約350㎡

宅地造成工事の道路築造に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳時代の古墳1基、奈良・平安時代の竪穴建物16軒、井戸2基、土坑6基、ピット4基、中・近世の溝6条、土坑3基、時期不明の竪穴建物跡2軒、井戸1基、土坑8基、ピット1基が確認されました。また、古墳時代、平安時代の土器片が出土しました。確認調査では、古代瓦や墨書土器も検出されました。

このことから、この地域では、古代から集落が形成されていたことが分かりました。



作業状況（東から）

ひがし べつ しょ にし はら い せき

東別所西原遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市東別所町地内
- 調査期間 令和3年7月29日から8月27日
- 調査面積 約82㎡

建売住宅建設の道路築造に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳時代の竪穴建物跡2基、溝1条、土坑5基、奈良・平安時代の竪穴建物1軒、時期不明の土坑7基、ピット2基が確認されました。また、古墳時代、奈良・平安時代の土器片が出土しました。

このことから、この地域では、古くから集落が形成されていたことが分かりました。



作業状況（北から）

みや にし い せき

宮西遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市東矢島町地内
- 調査期間 令和4年1月13日から3月28日
- 調査面積 約606㎡

集合住宅建築に伴い発掘調査を実施しました。その結果、縄文時代の土坑1基、古墳時代の竪穴建物跡4軒、井戸2基、土坑1基、飛鳥時代の竪穴建物跡2軒、飛鳥・奈良・平安時代の竪穴建物跡1軒、奈良・平安時代の竪穴建物跡4軒、井戸3基、土坑1基、近世の溝2条、柵列1条、土坑22基、時期不明の土坑17基、ピット35基が確認されました。また、縄文・古墳・飛鳥・奈良・平安時代及び近世の土器片、埴輪片、時期不明の勾玉などの遺物が出土しました。

このことから、この地域では、古くから継続的に集落が形成されていたことが分かりました。



調査区全景（上空から 上が西）



竪穴建物跡から
出土した勾玉



たか はやし つる まき こ ふん ぐん

高林鶴巻古墳群（民間開発）

- 調査場所 太田市高林南町地内
- 調査期間 令和4年1月6日から4月5日
- 調査面積 1,058㎡

福祉施設建設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、古墳2基、溝2条、土坑2基、ピット36基が確認されました。古墳のうち1基は、旧沢野村88号墳と想定され、現況で盛土も残存していましたが、調査の結果、大きく壊されており、埋葬施設・埴輪列ともに確認できませんでした。また壊された土層中から直刀片や多数の埴輪片が出土しました。



旧沢野村88号墳周堀の調査状況 堀幅約3～5m



旧沢野村88号墳遠景（東から） 直径約24mの円墳



出土した鉄製の直刀片 残存長約32cm
本来埋葬施設にあったものと思われる

ひがし いま いずみ か し ま い せ き

東今泉鹿島遺跡（民間開発）

- 調査場所 太田市東今泉町地内
- 調査期間 令和3年2月2日から
令和3年4月23日
- 調査面積 約2,234㎡

倉庫建設に伴い発掘調査を実施しました。その結果、縄文・古墳・奈良・平安時代及び中・近世

の遺構が確認されました。内訳は、竪穴建物跡11軒、掘立柱建物跡6棟、井戸12基、土坑433基、溝95条、道路状遺構1条、ピット1514基、遺物包含層4ヶ所でした。溝の中には、中世の屋敷跡の堀と考えられるものも検出されました。また、縄文時代や古代の土器片のほかかわらけや石造物が多く出土しました。



調査区（北東 上空から）



71号溝（南東から）



160号土坑（北東から）



令和3年度埋蔵文化財最新情報展

- と き 令和4年2月11日(金)から令和4年4月10日(日)
- ところ 史跡金山城跡ガイダンス施設
- 観覧者 4,573人

令和3年度の埋蔵文化財最新情報展は、平成21・28年度に調査した北之庄遺跡^{きたのしょういせき}の発掘調査報告書が刊行されたことを受け、「由良の古代ビトを訪ねてー北之庄遺跡発掘調査のこれまでー」というテーマで行いました。

北之庄遺跡は太田市由良町にあり、平成21・28年度の発掘調査では縄文時代の竪穴建物跡や古墳時代の方形周溝墓^{ほうけいしゅうこうぼ}が確認されました。これらの遺構から出土した石鏃^{せきぞく}や打製石斧^{うしせいせき}、勾玉^{まがたま}などを今回展示しました。

その他に平安時代の集落や近世の堀が確認された平成5年度と令和2年度の発掘調査成果も加え、縄文時代から中・近世までの人々の足跡を辿る展示としました。



最新情報展ポスター(展示期間を4月10日まで延長)



展示風景



縄文時代に使用された石器



縄文時代の土坑から出土した深鉢

出土遺物整理作業

文化財課では、これまで実施した発掘調査の成果を公開するために、出土した遺物の接合や復元、実測、写真撮影等の整理作業を行い、資料化を進めています。令和3年度は駒形神社埴輪窯跡、今井地区遺跡群、令和2年度太田市内遺跡などの各調査の整理作業を実施しました。

令和3年度には、令和2年度の各種開発に伴う確認調査をまとめた『太田市内遺跡17』を刊行しました。



太田市内遺跡17



整理作業風景





令和3年度 確認調査一覧表

No	遺 跡 名	所 在 地	調査期間	開発原因
1	天良七堂遺跡	天良町	R3.4	民間
2	堂原遺跡	脇屋町	R3.4	民間
3	大日山古墳群、下小林館跡（大倉城）、雷遺跡	下小林町	R3.4	民間
4	富沢古墳群	富沢町	R3.4	民間
5	中原上遺跡	藪塚町	R3.4	民間
6	東矢島古墳群	南矢島町	R3.5	民間
7	飯塚古墳群	飯塚町	R3.5	民間
8	新堀遺跡	台之郷町	R3.5	民間
9	八反田遺跡	下浜田町	R3.5	民間
10	反町城跡、要害遺跡	新田反町町	R3.5	民間
11	長福寺遺跡	下田島町	R3.6	市
12	天良七堂遺跡、寺井古墳群	寺井町	R3.6	民間
13	房塚遺跡	内ヶ島町	R3.7	民間
14	東別所西原遺跡	東別所町	R3.7	民間
15	鳥山寺中遺跡、推定東山道駅路牛堀・矢ノ原ルート	鳥山上町	R3.7	民間
16	天神山古墳	内ヶ島町	R3.7	民間
17	推定東山道駅路下新田ルート	鳥山上町	R3.7	民間
18	三島遺跡	藪塚町	R3.7	市
19	浜町遺跡	本町	R3.7	市
20	F P 泥流下遺跡群	亀岡町	R3.8	民間
21	F P 泥流下遺跡群	亀岡町	R3.8	民間
22	東部地区遺跡群	岩松町	R3.8	民間
23	西田島遺跡	下田島町	R3.8	市
24	高林鶴巻古墳群	高林南町	R3.9	民間
25	三枚橋南古墳群	鳥山町	R3.9	民間
26	西野西遺跡	藪塚町	R3.9	民間
27	目塚遺跡	内ヶ島町	R3.9	民間
28	一町田・堀之内遺跡	新田赤堀町	R3.9	民間
29	石田川遺跡	米沢町	R3.9	民間
30	反町城跡、要害遺跡	新田反町町	R3.10	民間
31	家前遺跡	岩瀬川町	R3.10	民間

No	遺 跡 名	所 在 地	調査期間	開発原因
32	天神山古墳	内ヶ島町	R3.10	民間
33	長慶塚古墳	新田下江田町	R3.10	民間
34	F P 泥流下遺跡群	安養寺町	R3.10	民間
35	小舞木遺跡	小舞木町	R3.10	民間
36	鳥ヶ谷戸遺跡	鳥山中町、鳥山下町	R3.10	民間
37	新田館跡	世良田町	R3.11	民間
38	女体山古墳東方遺跡	内ヶ島町	R3.11	民間
39	長福寺遺跡	下田島町	R3.11	民間
40	入谷遺跡	新田小金井町	R3.11	民間
41	清川遺跡	由良町	R3.11	民間
42	F P 泥流下遺跡群	亀岡町	R3.12	民間
43	F P 泥流下遺跡群	尾島町	R3.12	民間
44	宮西遺跡	東矢島町	R3.12	民間
45	新ヶ谷戸遺跡	南矢島町	R3.12	民間
46	東部地区遺跡群	堀口町	R3.12	民間
47	流作場遺跡	丸山町	R3.12	民間
48	下田島遺跡	下田島町	R3.12	市
49	古氷条里制水田跡	緑町	R3.12、R4.3	県
50	堀廻遺跡	新田小金井町	R4.1	民間
51	龍舞深町遺跡	龍舞町	R4.1	民間
52	石神遺跡	龍舞町	R4.1	民間
53	延享割遺跡	泉町	R4.2	民間
54	下原遺跡	脇屋町	R4.2	民間
55	下原遺跡	脇屋町、新野町	R4.2	民間
56	飯塚古墳群	飯塚町	R4.2	民間
57	推定東山道駅路(武蔵路)	下浜田町	R4.2	民間
58	北宿遺跡	新田上江田町	R4.3	民間
59	舞台A・D遺跡	西本町	R4.3	民間
60	道灌谷戸遺跡	下浜田町	R4.3	民間
61	由良天王遺跡	由良町	R4.3	民間
62	大通寺後遺跡	新田木崎町	R4.3	民間

開発に係る調整 令和3年度 事前照合・協議件数等

	公共事業	民間開発	合 計
事前照合・協議	49件	2,603件	2,652件
本発掘調査	0件	7件	7件
確認・試掘調査	6件	56件	62件
学術調査	0件	—	0件
立会調査	6件	36件	42件
慎重工事	13件	694件	707件
93条届出	—	720件	720件
94条届出	37件	—	37件
確認・試掘調査面積	318㎡	3,435㎡	3,753㎡
本調査面積	0㎡	4,870㎡	4,870㎡
学術調査面積	0㎡	—	0㎡



新田荘歴史資料館

太田市世良田町3113-9 ☎0276-52-2215 開館時間／9時30分から17時 ㊿／月曜日

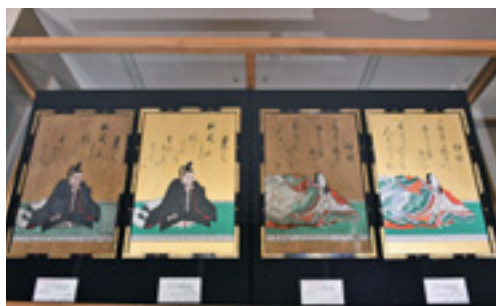
「令和3年度長楽寺展－三十三観音の世界②－」

●と き 令和3年10月16日（土）から12月12日（日）

●入館者 1,104人



展示の様子「絹本墨画三十三観音図」



展示の様子「板面著色三十六歌仙図」

令和2年度の（三十三観音の世界①）に続き、令和3年度の長楽寺展では、長楽寺に伝わる「絹本墨画三十三観音図」を中心に長楽寺・東照宮の宝物を公開しました。

展示室入口のL字コーナーでは、長楽寺開山堂の頂相の「伝徳川義季像」・「達磨大師像」・「一翁院豪像」、また密教法具である「独鈷杵」・「三鈷杵」・「五鈷杵」・「輪宝」・「羯磨」を展示しました。

収蔵展示室には、長楽寺から群馬県立歴史博物館に寄託されている県重文の絹本墨画三十三観音図33幅のうち16幅を展示しました。（ほかの17幅は、令和2年度に展示済み。）また、中央部分には、密教法具「五鈷鈴」3点を展示しました。

展示室の出口部分では、世良田東照宮所蔵の県重文の板面著色三十六歌仙図の内、6面を展示しました。実物（県重文）と復元模写を並べて展示し、日本絵具の経年による変化が比べられるようにしました。

展示資料を通して、中近世に繁栄した長楽寺・東照宮の歴史と文化の一端に触れることの目的を達成することができました。

「世良田東照宮の宝物」

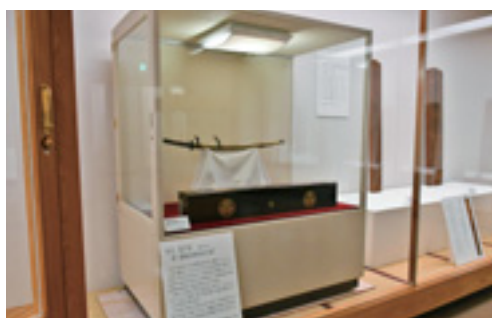
●と き 令和3年9月11日（土）から10月10日（日）

●入館者 873人

今回の「世良田東照宮の宝物」の展示では、当時建替中の東照宮宝物館の資料の寄託を受けて保管中の資料を公開しました。展示は、^{ぎんぞう い かけ じ た ち ころえ}銀造沃懸地太刀拵、^{むなふだ}附重要文化財「棟札」7枚を中心に公開しました。

収蔵展示室に、中央の展示ケースに徳川家康「着初めの鎧」、コの字形の展示ケースには、後水尾上皇の筆の勅額「東照大権現」、神饌器具である「高杯」・「瓶子」・「御菓子鉢」・「御飯鉢」など、いずれも「葵の御紋入り」のもの25点、「御金幣」、正面には附重要文化財である「銀造沃懸地太刀拵」、同じく附重要文化財である「棟札」7枚を展示しました。

世良田東照宮に伝わる宝物の資料を展示し、近世に繁栄した世良田東照宮の歴史と文化の一端に触れることを目的として開催しました。



展示の様子「銀造沃懸地太刀拵」



展示の様子「棟札」



縁切寺満徳寺資料館

太田市徳川町385-1 ☎0276-52-2276 開館時間／9時30分から17時 ㊿／月曜日

こほんおうらいもの

たなごころ

特別展「小本往来物の世界―掌の中の江戸時代―」

●と き 令和3年11月13日（土）から令和4年1月16日（日）

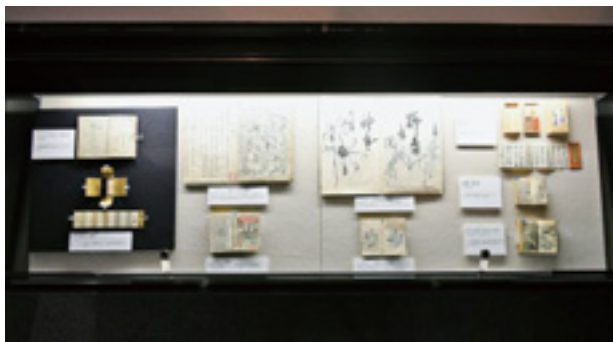
●入館者 1,305人



特別展のポスター



展示の様子「小本消息科往来の流布と展開」



展示の様子「雑豆本」

令和3年度は「小本往来物の世界―^{こほんおうらいもの}掌の中の江戸時代―」と題して実施しました。往来物は近代小学校以前の約900年間、日本人の識字率を支えた読み書き教材ですが、今回は特に「^{すんちんぼん}寸珍本」「^{しゅうちんぼん}袖珍本」「^{ひなまめほん}雛豆本」などと呼ばれる小型和本約120点を会場一杯に展示しました。

3つのテーマで展示を行い、①「小本消息科往来の流布と展開」では、『^{しょうそくおうらい}消息往来』『^{いっぴつけいじょう}一筆啓上』『^{ちよっとあんもん}一寸案文』の流布の様子、②「小本往来物各種」では、各ジャンルの小本往来物、③「雛豆本」では極小サイズと通常サイズの往来物の大きさの違いを紹介しました。

高山彦九郎記念館

太田市細谷町1324-7 ☎0276-32-5632 開館時間／9時30分から17時 ㊿／月曜日

高山彦九郎は、上野国新田郡細谷村（現太田市細谷町）で生まれた江戸時代中期の勤王思想家で、後世の明治維新を導いた幕末の志士たちに大きな影響を与えた人物です。高山彦九郎記念館は、高山彦九郎を再評価し、その人物像を広く知っていただくため、平成8年5月に国指定史跡高山彦九郎宅跡 附遺塚の隣接地に開館致しました。

また、令和4年1月15日から「太田市の原始・古代展」（表紙参照）を、2階企画展示室で開催しています。ぜひ一度お越し下さい。



大隅俊平美術館

太田市由良町3051 ☎0276-20-6855 開館時間／9時30分から17時 ㊿／月曜日

季節毎の展示



- 「春の刀剣展示」令和3年1月23日（土）から5月23日（日） 入館者459人
- 「夏の刀剣展示」令和3年5月29日（土）から9月26日（日） 入館者341人
- 第13回企画展「大隅刀匠と弟子たち」 令和3年10月2日（土）から令和4年1月23日（日） 入館者391人
- 「春の刀剣展示」令和4年1月29日（土）から5月22日（日） 入館者84人（3月末まで）

年中行事

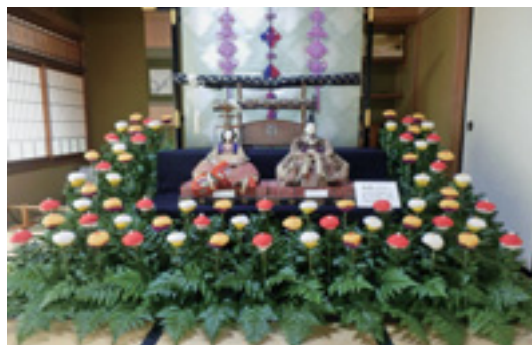
七夕飾り

- と き 令和3年6月26日（土）から7月11日（日）
- 参加者 80人



重陽の節句

- と き 令和3年9月7日（火）から9月12日（日）
- 参加者 38人



ふいご祭り

- と き 令和3年12月5日（日）
- 参加者 26人



雛飾り

- と き 令和4年2月22日（火）から3月13日（日）
- 参加者 110人





史跡金山城跡ガイドンス施設

太田市金山町40-30 ☎0276-25-1067 開館時間／9時から17時 ㊿／月曜日

ギャラリー展示（企画展）

企画展名	実施期間	入館者
「日本最大の郡庁—新田郡家はなぜ造られたか？」	R3.4.1から5.30	5,972人
「金山と石造物」	R3.6.12から9.5	4,576人
「古地図から読み解く太田宿の発展と特徴」	R3.7.31から8.29	1,918人
「第10回篆刻展松井如流用印模刻展」	R3.9.1から10.31	3,217人
「日本百名城パネル展九州沖縄編」	R3.11.13からR4.1.16	4,553人
「埋蔵文化財最新情報展」	R4.2.11から4.10	4,573人





教室

教室名	実施日	回数	講師	受講者
親子草木染教室	令和3年7月29日(木) 令和3年7月30日(金)	4回 (午前2回・午後2回)	松尾紀美子氏	22名
日本茶の美味しい入れ方	令和3年12月3日(金)	1回	齋藤 一郎氏	21名
水引細工	令和3年12月16日(木) 令和3年12月23日(木)	4回 (午前2回・午後2回)	深町なつき氏	12名
草木染教室	令和4年3月18日(金) 令和4年3月19日(土) 令和4年3月25日(金) 令和4年3月26日(土)	6回 (午前4回・午後2回)	松尾紀美子氏	26名



さまざまな日本茶を味わい違いを比べる



水引で編んだお正月用の巾着



色々な模様の藍染めトートバック

オリジナルグッズ

施設では、新田金山城御城印のほか金山城に関連するオリジナルグッズを有償頒布しております。来館・登城記念に大好評です（オリジナルグッズは郵送対応しておりません。直接ご来館の上購入してください。）



オリジナルグッズ（新田金山城御城印）



オリジナルグッズ（トートバッグなど）